

ふれあい曾山医院

志筑1391-9
Tel:62-5566

2025年1月号
(第154号)

発行人
曾山 信彦



編集委員会



曾山医院
ホームページ
soyama-clinic.com



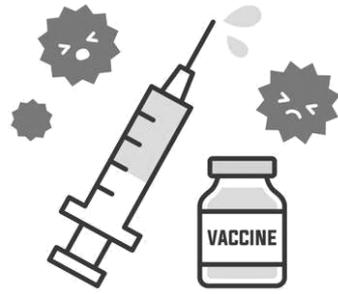
5種混合ワクチンについて

2024年4月より5種混合ワクチンが新たに定期接種となりました。

追加したのが5種混合ワクチンです。

どんなワクチン

5種混合ワクチンとは、従来の百日咳・破傷風・ジフテリア・ポリオを予防するために接種されていた4種混合ワクチンにヘモフィルスインフルエンザ菌b型(Hib)の抗原成分を



追加したのが5種混合ワクチンです。予防できる病気はジフテリア（細菌によって引き起こされる感染症で高熱、のどの痛み、せき、嘔吐など喉や呼吸器系に影響し、心筋障害や神経麻痺などを起こすこともあり）、破傷風（傷口から土の中の細菌が侵入した際に発症する感染症で筋肉の硬直やけいれんを引き起こすことがあります）、百日咳（ボルデテラ・ペルチュシス菌によって引き起こされる呼吸器感染症で強いせきや肺炎や脳症を引き起こし、特に乳幼児では注意しなければいけない病気です）、ポ

リオ（急性灰白髄炎）はポリオウイルスによる感染症で、重症の場合は手足に麻痺がおこり、運動障害が一生後遺症として残ることがあります）、ヘモフィルスインフルエンザ菌b型（Hib）感染症はインフルエンザ菌b型による感染症で細菌性髄膜炎、急性咽頭蓋炎、脳症など重篤な病気を引き起こす可能性があります）

この5つの病気に、

抵抗力をつけるため接種されるのが5種混合ワクチンです。

接種対象・接種方法は、生後2ヶ月から接種可能で、定期接種の対象年齢は7歳半（生後90ヶ月）までです。初回接種は生後2ヶ月から7か月の間に開

副反応について

主な副反応は発熱、接種部位の腫れ、下痢などです。これ以外にも嘔吐、下痢、蕁麻疹、アナフィラキシーショック等の事例が報告されていますが、これまでの一般的な予防接種との明確な差異はみとめられていません。

効果について

これまでの百日咳や破傷風、ジフテリア、ポリオだけでなく、インフルエンザ菌b型感

染症の予防も可能になる5種混合ワクチン、特に百日咳は近年大人の間で急速に増えており子供への感染が懸念されています。大人の場合は咳が長引く程度ですが、乳児へ感染すると重症化しやすく肺炎や脳炎などの合併症も引き起こしやすい危険な病気です。

5種混合ワクチンの定期接種は2024年

4月より開始されています。生後2ヶ月から対象ですので、早めに予防できるように接種を進めていきましょう。当院でも追加接種等は可能ですので、一度、ご相談ください。



謹賀新年

旧年中はお世話になりました

本年もよろしく

お願い申し上げます

令和七年 元旦



曾山医院